※令和４年度以降入学生用

学校番号	3033

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「MOUSA②」（教育芸術社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」を軸に「楽器を演奏すること」や「音楽を聴くこと」、「音楽をつくること」を年間で勉強し、演奏会に向けて自分たちで企画を行います。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・仲間と常にさらに良い演奏をめざして真剣に取り組むことで、より音楽の喜び・楽しみや、協力して一つの作品を作り上げる達成感を感じることができます。
・音楽が、生涯みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願い、演奏技術の向上と楽の幅を広げてさらに楽しむことができるようにしていきたいと考えています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

（ａ）　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。
（ｂ）　自己のイメージや他者とのコミュニケーションの中で生まれたイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
（ｃ）　主体的・協同的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり・および音楽の多様性について理解し、自らの音楽表現にも繋げてようとしている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な楽典の基礎や、歌唱、器楽、創作の技能を身に付けている。	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。また、表現することができている。	・仲間と協力し合い、歌唱、器楽、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 ・自らの課題を見つけ、目標を立てて授業に取り組むことができている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	合唱の喜び ～混声合唱の響きを味わおう～	【歌唱】 ●「糸」 ●オペラ『アイーダ』より「凱旋行進曲」	a: 表現の創意工夫ができる歌唱の技能、読譜能力を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察	観察	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	リコーダーアンサンブルに挑戦	【器楽】 「夏は来たりぬ」 「ソナチネ」	a:リコーダーの運指を覚え、周りの音を聴きながら演奏することができている。また演奏に必要な読譜能力などを身につけている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように演奏するか、表現意図をもっている。 c: リコーダーアンサンブルの響きを味わい、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。また、自らの課題を見つけ、目標を立てて授業に取り組むことができている。	小テスト	観察	振り返りシート
	よりよい演奏をめざして～管弦楽と合唱の響き～	【鑑賞】 オペラ『アイーダ』より 「凱旋行進曲」	a: 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 c: 管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果と合唱の響きとの対比に関心をもち、自らの演奏に生かせることを探求しながら聴くことができている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	演奏会の企画をしよう ～学年発表の企画～	【歌唱・器楽】 ●学年発表 音楽会の演目を企画しよう ・企画案を考える ・パートごとに企画について話し合う	a：音楽の多様性について理解している。 b：歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのような企画をするかを考えることができている。 c：学年発表の企画に関心を持って取り組もうとしている。また、話し合いにも積極的に参加することができている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート 観察
2学期	演奏会の練習をしよう① ～学年発表の企画・練習、全体合唱の練習～	【歌唱・器楽・創作】 ●学年発表 ［歌唱・器楽・創作より選択］ ●全体合唱 オペラ『アイーダ』より「凱旋行進曲」	a：創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な発声、発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。 b：楽曲のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図を持ってパート練習や全体練習に取り組むことができている。 c：楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。また、自らの課題を見つけ、目標を立てて授業に取り組むことができている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 演奏の聴取	振り返りシート 観察
	和楽器アンサンブル ～箏演奏を体験～	「さんぽ」	a：箏の奏法を覚え、周りの音を聴きながら演奏することができている。 b：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように演奏するか、表現意図をもっている。 c：箏の響きを味わい、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。また、自らの課題を見つけ、目標を立てて授業に取り組むことができている。	観察	観察	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	演奏会の練習をしよう① ～舞台演出、仕上げ、発表、鑑賞～	【歌唱・器楽・鑑賞】 学年発表曲 全体合唱曲 オペラ『アイーダ』より「凱旋行進曲」	a: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付け、それを生かした演奏をすることができている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組み、発表に向けてさらによい演奏をめざして意見を出し合いながら練習に取り組むことができている。また他の学年などの発表をそれぞれのよさや演出の工夫を創造的に味わって鑑賞している。	観察 演奏の聴取 ワークシート	ワークシート	振り返りシート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度